

令和7年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	健康増進課		電話番号	直通	989-5575
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現		施策分野	健康づくり	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	524,659	千円	今年度 予算額	559,513 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	10分以上連続した健康づくりに週1日以上取り組んでいる市民の割合	目標値		76	77	78	79	80	%	C
		実績値	75.4	68.6	60.2	65.8	71.7			
2	生活習慣病による死亡率	目標値		70	69	67	66	65	%	C
		実績値	71.3	69.6	56.3	80.0	70.7			
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			B：順調			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地域健康づくり推進（地域元気づくり事業、食育推進事業、まちなか健康交流事業）、健康づくりセンター・健康公園の運営及び管理、健康対策（ピロリ菌検査の実施、禁煙外来治療費の助成）、母子保健事業（母子健康教育事業、母子健康相談事業、母子訪問指導事業、母子歯科保健事業の実施）、母子健康診査事業の実施、出産・子育て応援事業の実施、母子予防接種（ヒブ*・小児肺炎球菌予防接種、麻しん・風しん予防接種、五混*・ロタ*・BCG*等予防接種の実施）、成人健康相談、栄養相談、こころの相談
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・食生活の課題が顕著化（塩分過多、野菜不足等栄養の偏り、食習慣の乱れ等） ・ストレスや過労によるこころの病気が顕著化。こころの健康の重要性についての普及啓発や支援体制づくりを進める必要がある。 ・R3～6の生活習慣病による死亡率は一時減少から増加傾向。コロナにより呼吸器系に由来する死因等の増加が影響したとも考えられ、原因特定は難しいが、県東部地域特有の高喫煙率や高血圧などに着目し、経年変化を見つつ対策の検討が重要。 ・20～64歳といった早期からの健康づくりが必要だが、忙しさを理由に健康づくり意識が低いことが懸念される。時と場所にとらわれない健康施策が必要。 ・R6の当町のう歯保有率について、5歳児では県内で4番目に低いものの、中学1年生では4番目に高い状況にあり、永久歯に生え変わる小学生の時期においても、家庭等での継続したう歯予防対策が重要。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・パークゴルフ場の運営並びに健康公園、各体育施設の適切な維持管理を実施するとともに、歩数アプリ参加者のさらなる増加に向けてSNS等を活用した施策を展開するなど、幅広い世代の日常生活における気軽な健康づくり環境を充実する。 ・妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を継続する。 ・町内在園の年長児を対象としたフッ素洗口事業について、町外園児に対しての公平性に課題があることや、学齢期まで継続的に予防できるようかかりつけ医への足掛かりを作ると共に、現代の多様性を考慮した実施方法への見直しが必要。 ・働く世代の健康づくりについて、指導者派遣等関わっている事業所は継続し、未実施の事業所へは情報提供などを進めていく（新規開拓） ・様々な世代や障がいを持つ方など、誰もが自分に合った健康づくりに習慣的に取り組めるよう、自由参加型イベント「ながいずみカラダフェスタ事業」を継続する。